

(別紙3)

環政起第1660号-1

令和7年12月22日

米子水鳥公園及び米子水鳥公園ネイチャーセンター

公益財団法人 中海水鳥国際交流基金財団

理事長 伊澤 勇人 様

米子市長 伊木 隆司

令和6年度「米子水鳥公園及び米子水鳥公園ネイチャーセンター」  
指定管理者業務評価書

施設名	米子水鳥公園及び米子水鳥公園ネイチャーセンター
施設所管課	市民生活部 環境政策課
指定管理者名	公益財団法人 中海水鳥国際交流基金財団
指定期間	令和3年4月1日 ~ 令和8年3月31日(4年目)

【モニタリング終了後の総評】

【施設所管課】

設置目的を達成するため、事業計画に基づき事業を実施し、利用者から高い評価を得た。  
令和6年度は、新規イベントの開催や県外施設と共同企画を実施するなど、創意工夫を凝らし、積極的に施設の利用促進を図った。

環境学習・普及啓発活動として、野鳥の専門家である指導員が講師として、自然観察会等定例のイベントを実施し、利用者の自然環境に対する意識の向上を図った。また、園児・児童の環境学習のほか、各団体の研修・視察なども多く受け入れ、対応を行った。併せて、地域の住民やボランティア団体と協力して施設の特性を活かした事業を実施し、施設の多面的な利用及び地域の要望に貢献した。

施設管理については、施設の老朽化による不具合に対する適切な修繕等、施設の安全対策を迅速かつ丁寧を実施した。また、感染症対策及び夏期の熱中症対策を適切に実施した。  
総合的に、良好な運営を行っているものと評価する。

【第三者評価】

豊富な専門知識を持った指導員により、幅広い層の来館者に対して丁寧な説明及び解説等を行っている。

また、職員の意識も高いことからより質の高い対応がなされている。

さらに、貴重な湿地環境を次世代に受け継いでいくため、職員、地域、企業、ボランティア団体が協働して園内の維持管理、環境保全活動に取り組んでおり、野鳥や動植物の観察ができる環境を維持している。

総じて、環境学習施設として地域社会への貢献を実現していると認められる点を高く評価する。

【今後の業務改善方策等の特記事項】※評価 C 及び D がいないため記載なし。

【施設所管課】

【第三者評価】

## 令和6年度下期「米子水鳥公園・米子水鳥公園ネイチャーセンター」モニタリング評価表

〔令和7年12月〕

施設名	米子水鳥公園・米子水鳥公園ネイチャーセンター	
施設所管課	市民生活部 環境政策課	
指定管理者名	団体名	公益財団法人 中海水鳥国際交流基金財団
	所在地	米子市彦名新田665
指定期間	令和3年4月1日 ~ 令和8年3月31日	
選定方法	非公募	
施設の設置目的	市民の自然環境に関する意識の向上を図るため。	
主な実施事業	設置目的を達成するため、下記の事業を行う。 (1)野生鳥類等の観察並びに野生鳥類等及び自然環境に関する学習活動のための利用に供すること。 (2)野性鳥類等及び自然環境に関する資料の収集及び展示を行うこと。 (3)野性鳥類等の生態に係る調査及び研究を行うこと。 (4)前3号に掲げるもののほか、市民の自然環境に関する意識の向上を図るために必要な事業	

評価項目	評価基準	評価	特記事項
<b>I 履行の確認 (60点)</b>			
<b>1 施設全般の管理運営に関する業務</b>			
(1)管理体制	施設の管理体制が明確になっており、基準に基づいた適切な人員配置がなされているか 安全対策、危機管理体制などが十分に講じられているか	B	立入調査により確認: 効率的な人員配置により業務を行っている。
(2)職員研修	職員の業務に必要な資質・能力の向上を図るための研修・教育が適切に行われたか	A	資料等確認: 各種会議への参加、高校への講師派遣等により資質向上に努めている。
(3)利用促進業務	利用者拡大のための利用促進業務が適切に行われたか	A	資料等確認: ホームページや水鳥公園だより、広報よなご、FM番組など、積極的な情報発信を行い利用促進に努めている。
<b>2 利用者に関する業務</b>			
(1)利用状況	利用者数・稼働率等は適切な水準であるか ※1	B	資料等確認
(2)利用者の要望把握等	利用者の要望の把握及びその実現策は適切に行われているか	B	資料等確認: 利用者からの意見に迅速に対応している。
<b>3 保守点検及び清掃等の業務</b>			
(1)保守点検業務	基準に基づき、保守点検が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	資料等確認
(2)清掃・維持業務	基準に基づき、清掃業務・維持管理が適切に行われたか	B	資料等確認: 基準で定められた業務の

	第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か		ほか、ボランティア団体と協力し清掃・維持業務を実施している。
--	----------------------	--	--------------------------------

(3) 保安・警備業務	基準に基づき、保安・警備業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	資料等で確認
(4) 修繕業務	基準に基づき、修繕業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	A	立入調査、資料等確認：施設の機能維持のため、クロス張替やロールカーテン修繕等適切に実施している。
4 自主事業の実施に関する業務	事業計画書に沿った自主事業が適切に行われたか	—	
5 情報公開・個人情報に係る措置	情報公開・個人情報保護に係る措置は適切に行われたか	B	資料等確認：運営上得た個人情報は施錠できるロッカーで保管している。
6 管理目標	施設の現状を正しく認識し、今後の在り方についての提案は具体化されているか	B	立入調査・聴取等により確認：市と情報共有し、方針の具体化に努めている。

## II サービスの質の評価 (25点)

1 利用者満足度	利用者へのサービスの質を維持・向上させるための提案は具体化されているか 利用者アンケート等を実施し、その結果は妥当であるか	A	資料等確認：利用者アンケートではスタッフの親切かつ丁寧な対応に対し高い評価を得た。 また、アンケートに記載された意見に基づき、速やかに改善をおこなっている。
2 維持管理業務	日常清掃業務や衛生管理、備品などの設備の維持管理は適正に行われ、良好な状態で施設の利用が行われているか	B	立入調査により確認
3 運営業務	事業運営について、サービス水準の向上のための創意工夫が見られるか 利用許可などの利用者への接客・対応は適切であるか	A	資料等確認：県外の施設と共同企画の実施や多数のイベントを実施し、市民の自然環境意識の向上を図った。
4 自主事業	実施された事業内容は、施設の設置目的に沿い、サービス水準の向上に寄与する質の高いものであるか	—	
5 施設の効用	施設の効用を最大限に発揮し、設置目的の達成に資することができる管理運営内容であったか	A	資料等確認：施設の特性を活かし、野鳥等に関する展示、環境学習、調査研究等が実施されている。

## III サービスの安定性の評価 (15点)

1 事業収支	指定管理業務の事業収支は妥当であるか ※2	B	資料等確認
2 経営状況	指定管理業務の経営状況分析指標の結果は妥当であるか ※3	B	資料等確認

3 団体等の経営 状況（年度ごと）	団体の経営状況分析指標の結果は妥当であるか ※4	B	資料等確認
----------------------	--------------------------	---	-------

<p>【総評（所管課評価）】</p> <p>設置目的を達成するため、事業計画に基づき事業を実施し、利用者から高い評価を得た。</p> <p>令和6年度は、新規イベントの開催や県外施設と共同企画を実施するなど、創意工夫を凝らし、積極的に施設の利用促進を図った。</p> <p>環境学習・普及啓発活動として、野鳥の専門家である指導員が講師として、自然観察会等定例のイベントを実施し、利用者の自然環境に対する意識の向上を図った。また、園児・児童の環境学習のほか、各団体の研修・視察なども多く受入れ、対応を行った。併せて、地域の住民やボランティア団体と協力して施設の特性を活かした事業を実施し、施設の多面的な利用及び地域の要望に貢献した。</p> <p>施設管理については、施設の老朽化による不具合に対する適切な修繕等、施設の安全対策を迅速かつ丁寧に実施した。また、感染症対策及び夏期の熱中症対策を適切に実施した。</p> <p>総合的に、良好な運営を行っているものと評価する。</p>	<p>合計点 (66) 点 / (90) 点 × 100 = (73)</p> <p>平均点 (3.7) 点</p>
---	--

※施設の性格や設置目的により、評価項目は追加、変更できる。

※評価区分 A（優良）＝協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。（5点）

B（良好）＝協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った管理内容である。（3点）

C（課題含）＝協定書等の基準を遵守しているが、管理内容の一部に課題がある。（1点）

D（要改善）＝協定書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な管理内容である。（0点）

※特記事項欄は、評価を行った確認方法（例：立入調査、台帳確認、資料等確認）と当該評価を行った理由を記載する。

※総評欄は、事業計画書等との整合性を検証し、評価、業務の改善方策等を記入する。

※合計点は小数点第1位を四捨五入、平均点は小数点第2位を四捨五入とする。

【補足資料】

1 利用状況

項目	本年度〔令和6年4月～令和7年3月〕 A	前年度〔令和5年4月～令和6年3月〕 B	対 比 A－B	対 比 A/B (%)	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
開館日数	311	310	1	100.3	
施設利用者数	17,656	18,422	-766	95.8	
施設稼働率	85.0	84.9	0.1	100.1	
事業開催数	82	86	-4	95.3	

2 事業収支

(1) 収 入

項目	本年度〔令和6年4月～令和7年3月〕 A	前年度〔令和5年4月～令和6年3月〕 B	対 比 A－B (円)	対 比 A/B (%)	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
利用料収入	1,590,130	1,731,670	-141,540	91.8	
指定管理料	53,783,000	55,272,000	-1,489,000	97.3	
自主事業収入	0	0	0	0.0	
その他	630,139	323,932	306,207	194.5	その他の内訳は、イベント収入、利息収入、財団繰入金であり、令和6年度は繰入金が増であったため。
合 計	56,003,269	57,327,602	-1,324,333	97.7	

(2) 支 出

項目	本年度〔令和6年4月～令和7年3月〕 A	前年度〔令和5年4月～令和6年3月〕 B	対 比 A－B (円)	対 比 A/B (%)	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
人件費	40,795,651	41,062,219	-266,568	99.4	
旅費交通費	85,000	52,140	32,860	163.0	R5.9までは学生アルバイト（解説）の交通費（JR代）を給料に含めて支出していたが、R5.10からインボイス制度により交通費（JR代消費税10%）は旅費交通費から支出することとなったため。
通信運搬費	217,074	194,404	22,670	111.7	
消耗品費	925,133	981,166	-56,033	94.3	
修繕費	264,440	435,162	-170,722	60.8	緊急性の低い修繕を次年度以降に実施することとし、印刷製本費に流用したため。
印刷製本費	517,990	0	517,990	#DIV/0!	パンフレットの印刷をR8に予定していたが、ねんりんピック関係で多数配架により在庫が少なくなり印刷が早まったため。

燃料費	440,738	336,118	104,620	131.1	灯油代、ガソリン代の高騰。
光熱水費	2,961,563	3,133,861	-172,298	94.5	
賃借料	166,125	40,237	125,888	412.9	乗用草刈り機レンタル代について、R5まで指定管理以外で支出していたが、R6は指定管理から支出したため。
租税公課	3,854,300	2,695,600	1,158,700	143.0	簡易課税の消費税について令和6年度から本則課税になったため。
委託費	5,286,025	7,966,215	-2,680,190	66.4	つばさ池水系生態循環回復システム機器点検整備費用が年度で異なるため。
報酬費	487,300	429,000	58,300	113.6	
支払手数料	1,930	1,480	450	130.4	登記簿謄本取得手数料の値上げ。
その他	0	0	0	0.0	
合計	56,003,269	57,327,602	-1,324,333	97.7	

### 3 経営状況分析指標

項目	本年度〔令和6年4月～令和7年3月〕 A	前年度〔令和5年4月～令和6年3月〕 B	対比 A-B	対比 A/B (%)	備考
①事業収支	0	0	0	#DIV/0!	
②利用料金比率	2.8	3.0	-0.2	94.0	
③人件費比率	72.9	71.6	1.2	101.7	
④外部委託費比率	9.4	13.9	-4.5	67.9	
⑤利用者当たり管理コスト	3171.9	3111.9	60.0	101.9	
⑥利用者当たり自治体負担コスト	3046.2	3000.3	45.8	101.5	

#### ①事業収支：（収入－支出）

事業全体が黒字で施設の管理運営ができていようかどうかを確認する。赤字の場合は、管理継続性の面での課題を解決し、黒字化のための方策を検討する。

#### ②利用料金比率：（利用料金収入/収入×100）

収入に占める利用料金の割合。指定管理者の収入源がどこにあり、それが安定したものであるかを確認する。

#### ③人件費比率：（人件費/支出×100）

支出に占める人件費の割合。支出の中で人件費が減らされすぎているか、又は費用がかかりすぎているかを確認する。

#### ④外部委託比率：（外部委託費合計/支出×100）

支出に占める外部委託費の割合。外部委託に過度にシフトしていないかを確認する。

#### ⑤利用者当たり管理コスト：（支出/延べ利用者数）

利用者1人当たりにかかる費用。前年度や事業計画との比較、類似施設との比較により施設の効率性を確認する。

#### ⑥利用者当たり自治体負担コスト：（指定管理料/延べ利用者数）

利用者1人当たりにかかる自治体の費用。前年度や事業計画との比較、類似施設との比較により施設の効率性を確認する。

4 団体等の経営状況（年度ごと下期に実施し、上期では行いません。）

項目	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	備考
①自己資本比率	98.9	98.8	98.8	98.5	98.4	
②流動比率	540.1	539.3	529.7	439.6	423.9	
③固定長期適合率	95.8	95.7	95.6	95.6	95.6	
④総資産経常利益率	0	0	0	-0.1	0.1	
評価	（以上の指標を参考に評価する。）					

※貸借対照表と損益計算書を基に計算する。太枠内に今年度の数値を記載し、左側に過去4年分を記載する。

①自己資本比率

総資産（資産合計）に占める自己資本（純資産合計）の割合を示した指標。どれだけ借金に頼らず経営をしているかを示す。比率が高いほど借金（負債合計）に頼る割合が低く、経営が安定していることを示す。一般的には、70%以上なら理想企業、40%以上なら倒産しにくいとされている。

自己資本比率（%）＝自己資本÷総資産×100 【例】800÷2,000×100＝40.0%

②流動比率

団体の短期的な支払能力を示す指標。1年以内に現金化できる資産を「流動資産」、1年以内に支払を要する負債を「流動負債」といい、「すぐに準備できるお金」と「すぐに返さないといけないお金」のバランスを比較する。流動資産（すぐに準備できるお金）の方が多いほど、支払能力が高いことを示す。100%以上であれば問題ない。100%未満であれば資金繰りが苦しいとされる。

流動比率（%）＝流動資産÷流動負債×100 【例】1,100÷700×100＝157.1%

③固定長期適合率

固定資産をどの程度、自己資本（純資産合計）と固定負債で賄っているかを示す指標。土地や建物など、この先1年以上換金できない、又は換金しない固定資産を返済義務のない自前の資金である自己資本（純資産合計）と長期で調達したお金（固定負債）でどれだけ賄えるかを見る。100%未満であれば問題ないが、100%以上の場合は固定資産の維持調達について流動負債にも依存していることを示すことから、資金繰りが苦しいと考えられるとされる。

固定長期適合率（%）＝固定資産÷（固定負債＋自己資本）×100 【例】900÷（500＋800）×100＝69.2%

④総資本経常利益率

団体の総合的な収益力を示す指標。団体の総資産（資産合計）に対して、どれだけの経常利益を稼ぎ出しているかを示す。比率が高いほど資本を効率的に運用し、収益を上げている。

総資本経常利益率＝経常利益÷総資産×100 【例】200÷2,000×100＝10.0%

※補足資料1～4の各比率については小数点第2位を四捨五入とする。

■貸借対照表（例）

【資産の部】	【負債の部】
流動資産	流動負債
現金及び預金 400	買掛金 400
受取手形 500	短期借入金 300
有価証券 200	流動負債合計 700
流動資産合計 1,100	固定負債
固定資産	社債 300
建物及び構築物 200	退職給付引当金 200
土地 500	固定負債合計 500
投資有価証券 200	負債合計 1,200
固定資産合計 900	【純資産の部】
	資本金 600
	利益剰余金 200
	純資産合計 800
資産合計 2,000	負債純資産合計 2,000

■損益計算書（例）

売上高	3,000
売上原価	1,200
売上総利益	1,800
販売費及び一般管理費	1,200
広告	700
人件費	500
営業利益	600
営業外収益	200
受取利息	200
その他	0
営業外費用	600
支払利息	200
社債利息	0
経常利益	200
特別利益	100
外国為替	100
特別損失	50
固定資産売却損	50
税引前当期純利益	250
法人税・住民税等	50
当期純利益	200

5 利用者からの苦情の内容とそれに対する市・指定管理者の対応や市から指定管理者への指導状況

【利用者アンケート】

- (1) (ご意見) 正門横駐車場において、自動車学校の教習車が入庫や出庫の練習をしていた。  
 (対応) 指定管理者から市へ対策を相談し、市から自動車学校に連絡したところ、改善された。

【電話】

- (2) (ご意見) トンボ池への侵入路である農道の一部に轍や脱輪の形跡あり。  
 (対応) トンボ池除草作業の委託業者が脱輪したことを確認し、圃にストックしている真砂土を使用し農道を復旧。

## 6 利用者アンケートの結果

○パズルがたのしかったです。つぎはもっとむずかしのをしたいです。  
○スタッフの方が皆さんやさしく訪れやすいです。(館長さんはじめ、受付の方も)  
○11月から土・日・祝日の開園は7時からですが、コハクチョウが飛来したら次の土・日から開園は7時にしてほしい。第二駐車場も7時に開場してほしい。せめて中海側だけでもロープを外し入庫できるようにしてほしい。  
○うらぎの池にトウネン等小さなシギが多く飛来するので、何か対策をして近くから鑑賞出来るようにしてほしい。今ある望遠鏡より倍率の良い望遠鏡を数台設置してほしい。遠方の鳥がわかりにくい。水面に藻尾が大量に発生しており、コハクチョウが観察小屋付近に近寄れないと思いますので何とか一部撤去とか近くに来るよう対策してほしい。  
○とてもたのしかった。いろいろなとりのふくをきてたのしかった。またきたい。  
○鳥がたくさんあつまってきれいでした。  
○展示がたくさんあり、面白かったです。スタッフの方も親切で、子供と楽しめました。  
○たのしかったです。  
○パズルがもっとむずかしいのがほしいです。  
○とてもたのしかったです。でも野鳥変身セットにシジュウカラを入れてほしい。  
○ぜんぶたのしいもんくなし!  
○とりがたくさんみえてたのしかった。  
○めっちゃ、楽しかったから、また来たい。とても親切に観察のお手伝い?いろいろ教えていただき見せていただき来てよかったです。  
○インスタやってください!  
○コハクチョウがすきなので、いてよかったです。  
○コハクチョウが北帰行したと聞いたが、まだ沢山のこと今日は居なくて残念でした。  
○北帰行が運よく撮れて最高です。  
○いろんな鳥が見れて楽しかった。なんの鳥か教えてくれてわかった。いろいろなことを知れてよかった。  
○色々教えていただいてありがとうございます。  
○楽しかったです! また来ます。  
○ハガキがもらえてよかった。  
○鳥がたくさんいてよかったです。楽しいです。  
○初めて来ましたが、とても良かったです。白鳥がみれず残念でした。  
○鳥の説明に鳥のいそうな場所とかを教えてくれたからもっと良く知ることができた。  
○鳥のかんさつがおもしろかったです。鳥取市から初めてきました。みなさん優しく教えてくれ白鳥もとってもきれいでした!  
たのしかったのでまた来ます。ありがとうございます。  
○カワセミのバッチが欲しい。  
○正解の、バッチの種類を増やして欲しい。カルガモの親子  
○こん中や鳥がいてよかった。  
○くるたびにににかをしているからあきなくていい。  
○大山冒険手帳で入館料が安くなって景品交換もしていただきうれしかったです。  
○すごくきれいな自然をみる事ができてうれしかったです。  
○ダンゴ虫レースおもしろかった。  
○やさしく接してくれとてもたすかりました。ベビーカーをもっていただけどかいだんのとき「もちましようか」といってくれてうれしい思いやりがある。ありがとうございます。  
○もっとだんご虫のことをしりたいのでおしえてください。  
○とてもよかったです。イベントが楽しい。鳥がとてもきれいだった。バッチ気に入った。だんご虫レースがおもしろかった。  
○たのしかった。人形と遊ぶのがたのしかったです。  
○鳥の種類見れたのと鳥のパズルが子ども達はとても気に入っていました。  
○ホームページにベビーカーがあるって書いてあったような気がしていいんですけどないんですね。ベビーカーの貸し出しもあればいいなと思いました。  
○変身セットが楽しかったです。  
○境港に行ったついでに立ちよりましたが1日ゆっくりいてもあきない楽しい施設でした。たくさんの鳥の観察を1年通して行えそうでまたきてみたいです。  
○鳥の観察ができて良かったです。外も散歩できて気持ち良かったです。  
○スタッフの方が丁寧に説明してくださりました。子どもも興味を持ちやすく、とてもよかったです。  
○駐車場について  
自動車学校の教習車が2台入ってきて入庫と出庫の練習をしていた。駐車場内には子供連れを含む利用者がいた。人がいるとわかっている場所を車の練習場とすることに違和感を感じた。